		第2次総合計画	画施策評	価シート	《令和3	年度分	` 》				
施策コード	基本目標	2 【健康・子育て・福祉】笑	額あふれる	、健やかで共	に支え合う	まち					
2 — 2	施策目標	2 高齢者支援の充実									
	目標3. あらゆる年	F齢のすべての人々の健康的な生活	5を確保し、	冨祉を促進							
	目標11. 包摂的で多	安全かつ強靱(レジリエント)で掲	- 持続可能な都で -	市及び人間							
	居住を実現する 日標17 持続可能力	は開発のための実施手段を強化し、	ガローバル	- 1° L							
	ナーシップを活性化		グローノット	• //-							
SDGs											
連携分野											
	3 対へての人に 競技と福祉を	11 在み続けられる まちづくりを 17 日間を選択しよう									
目指すべきまた	5の姿 市民と行政	が地域で支え合い、高齢者一人ひ	とりが生涯傾	━ 健康で、仲間やシ	= 家族とともに.	- 、住み慣れが	= た地域で、活	舌き活き	と暮らしていま	す。	
	 	たと概要【PLAN】		=	.の1年間の原	戊果及び反	省点【DO】		担当	果	評価 【CHECK】
				通所型サービ ハビリ専門職	による6か月	間の短期集	中予防サー	ビスによ	企業宣驗 罪		A
/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· ~ + 15 ~ 40 ^ 46 } 14	and the second of the second o		り、生活機能 等への支援に							
介護予防と生活		推 【重点施策】 ↑護予防・日常生活支援総合事業、	一般介護予	上午纵日瓜水	Lを式(Late)を1ヶ月日	トマ和歌声	地 み、 原本人的	· . +&) - (=)			
	療の向上と福祉の増進	進を包括的に支援するため、地域包	1括支援セン	成年後見及びての基幹相談	支援センター	機能も併設	する「海部	南部権利	擁		
ター業務の推進を	図ります。			護センター」 〇法人として	設立しました	-0			に		A
				相談実績は、る相談12回を	行いました。	また、講演	会や研修の	開催、パ	ト ン		
				フレットやチ ました。							
	の推進【重点施策】	2 2 2 3 4 4 4 2 37 6	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	認知症地域支							
支援推進事業、家族	族支援、認知症サポー	トレンジプラン)」に基づき、認知 −ターの養成、認知症カフェの開設		知症施策に取フェ、認知症	家族会の開催	が難しい中					В
知症施策を総合的は	に推進します。			モートで参加) h (t)	1 1 1 m)	3		
(3) 在宅医療・分		0 1 14 - 40 PA 40 ~ 1M4m) = 41,44.	: - : · · · · · · · · · · · · · · · · ·	海部医療圏在中心に各事業	を推進しまし	た。電子@	連絡帳にて	新型コロ	ナ		
部医療圏在宅医療		ニーズを持つ高齢者の増加に対応す マーを中心に、在宅医療・介護連携		ウイルス感染 情報共有を図	りました。ま	た、令和3	年度より3	か年、海	部門護局即硃		В
取り組みます。				医療圏においた。	て入退院調整	支援事業の	取組みを開	始しまし			
(4) 生きがいづく	く n の促進										
ボランティア活動	動や福寿会活動、シル	ンバー人材センター活動、その他自 ☆参加を支援するとともに、仲間つ									В
こもり防止の観点な	からも、高齢者の生き	そがいづくりや居場所(地域のふれる)				動内谷の元	旦 しな こ 州公	桃 したた	但 川 護向即味		D
等)づくりを推進し	します。										
	した介護サービスの充 や地域で安心して暮ら	č実 っし続けられるよう、介護保険制度	ぎに基づく居	実地指導を定							n
宅サービス、地域を します。	密着型サービス、施設	とサービス資源の充実と適正化チェ	- ックを推進	芝一久に対応護給付費の抑				かりも、	介護高齢課		В
(6) 高齢者福祉		Merchanism and American American	-: 10 5 4 4	高齢者のみ世	帯が増える中	在宅生活	が安定して	送れるよ	う		
生活を支援するため	めの各種福祉サービス		はなどの社名		実施ました。				か 介護高齢課		A
・ささえあいセンタ●施策目標に対す	ター事業を推進します よる事民港兄庭	• •		5 /1-/	(, (,),	当法	現物	<u> </u>	早华士士向州	中	間値
●施東日保区的 9	の中氏神足皮					単位		9年度)	目指す方向性		4年度)
高齢者福祉施策のヨ	充実 					%	19	0.9	*		
	.	177	₩ /±	現状値		各年度0	の実績値			目標値 す方向	朴 子)
	●成果指	「標」	単位	(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年			和10年度
(1) 成年後見セン	/ターの設置		か所	0	0	1	1		1		1
 (2) 認知症サポー	ター養成研修受講者	 数	人	4, 080	5, 692	6, 184	6, 741		5, 000		6, 000
(4) ふれあいサロ		<u> </u>	か所	19	26	26	25		25	+	30
(4) ささえあいセ	ンター事業活動時間		時間	10, 278	11,660	8, 241	7, 913		12, 100	1	12, 400
(6) 給食サービス	、利用者数 (配食サー	-ビス・給食サービス利用券)	人	618	622	500	628		680	\dashv	730
(6) 緊急通報シス			人	86	90	98	106		100	\neg	120
	上タクシー料金助成利		人	701	935	961	1, 058		750	\dashv	800
	2 消毒サービス申請者		, ,	45	47	45	52		55	+	65

事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1-1)	成年後見センター利用促進事業	福祉課	権利擁護に係る相談、成年後見制度のニーズが増加しており、電話、来所、訪問、巡回などの各種相談や申立手続き支援への対応が必要となっております。専門相談員の増員など成年後見支援及び障がい者基幹相談支援の充実を図るため、三市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善
(1-2)	成年後見センター利用促進事業	介護高齢課	核家族化や高齢化を背景に、認知症となる方が増加している中、権利擁護センターをNPO法人に委託し、運営をしています。対象となる高齢者の権利擁護を行っていくために、市民にとって相談しやすい体制づくりに努めるとともに、3市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善
1-3)	介護予防・生活支援サービス事業	介護高齢課	第8期介護保険事業計画に基づき、より一層介護予防事業に 重点を置き、要介護認定率の低下につながる取組を工夫し強 化しながら、介護サービス給付費の上昇の抑制にも努めてい きます。	改善
1-4)	包括的支援事業	介護高齢課	介護予防・生活支援の総合的な推進のためにも、引き続き、 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などの関係機関 と連携を図り、包括的支援事業を実施していきます。	現状維持
(2)	認知症予防事業	介護高齢課	認知症の方や介護する家族に向けて、引き続き支援をしていきます。 認知症家族交流会の参加者が固定化されてきている面もありますので、事業所に委託をしている認知症カフェと組み合わせて気軽に参加できるような環境づくりを行うとともに、市民への周知もあわせて行っていきます。	現状維持
(3)	在宅医療・介護連携推進事業	介護高齢課	対象外	対象外
(4-1)	単位老人クラブ育成事業	介護高齢課	会員の減少傾向にある中、引きこもりや認知症の高齢者の増加を防ぐためにも、単位老人クラブ(福寿会)の活動等に対し、引き続き支援をしていきます。	現状維持
(4-2)	シルバー人材センター育成事業	介護高齢課	シルバー人材センターにおいて多くの高齢者が会員として仕事をされており、引き続き補助を行っていくことで高齢者の安定した就業確保を図っていきます。なお、事務の効率化及びコスト削減のため、令和4年度から弥富市シルバー人材センター十四山支所の機能を本所に統合していきます。	改善
(4-3)	ささえあいセンター事業	介護高齢課	ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望 や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれ る事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協 力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を 聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきま す。	改善
6-1)	給食サービス事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加傾向にある中、 介護予防において重要となる「食」について、引き続き支援 していきます。	現状維持
6-2)	緊急通報システム事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、事故等の緊急事態に 対処する必要があるため緊急通報装置の必要性が高まってい ます。高齢者の命を守るため、引き続き支援していきます。	現状維持
(6-3)	高齢者等福祉タクシー料金助成事業	介護高齢課	公共交通機関の利用等が困難な高齢者が増加する中、引き続 き移動手段の確保のため支援をしていきます。	現状維持
6-4)	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	介護高齢課	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、寝具の衛生管理等 が困難な高齢者等に対し、衛生面や環境面を整える支援とし て、引き続き取り組んでいきます。	現状維持
6-5)	ささえあいセンター事業 (再掲)	介護高齢課	ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を関きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。	改善

施策の今後の方針 【ACTION】 高齢者支援の各施策については、第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画に基づいて推進します。また第9期計画策定に向けアンケート調査を実施します。権利擁護については、成年後見制度などの相談が増加傾向にあり、引き続き海部南部権利擁護センターに業務を委託し、高齢者等の利用拡大と制度の啓発に努めます。

		Ŷ	第2次	総合詞	計画実施計	·画事業	評価	シート《令和	3年	度分》				
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日		
(1-1)	成年後	見センター利用	促進事	業				福祉課	F	障害福祉グループ	令和	口4年7月7日		
■総合言	十画の位	位置づけ												
		基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	[あふれ	る、健やかで	共にき	支え合うまち		重点施策		
		施策目標	2	高齢者	支援の充実									
基本語	計画	主要施策		介護予	防・生活支援	の総合的	な推進					0		
		主要事業	1	成年後	見センター設	置事業								
		目標3. あら	標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する											
SD(連携分														
		3 fべての人に 健康と福祉を												
■事業内	内容【PI													
		要支援者に対し利擁護事業の				見に向けて	. 権		蟹江	[町]				
事業[目的							主な協働・ 関連団体等	飛島	;村				
								IXEE IT 1						
		高齢や知的障害												
		めに、契約や見としての尊厳な	が損なれ	つれない	いように成年後	後見制度を	充実							
事業権	既要	させ、法律面がれた地域で自分						関連する 個別計画・						
		します。						根拠法令等						
事業の 終 ⁻		開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度							

■事業費(単位	z:千円)【DO】									
	令和3年	度(実績)	令和3	年度(計画	<u> </u>	令和4年	度(計画)	4	令和5年度	(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容	事: 客) (直接	業費 経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費]訳]な内容)	事業費 (直接経費)
	海部南部権利擁護セ ンター運営等委託料	12, 500	~ / 座台守女川	iセ 料	12, 500	海部南部権利擁護セ ンター運営等委託料	12, 5	500 海部南部村 ンター運営	権利擁護セ 営等委託料	12, 500
	(補助額)	0	(補助額)		0	(補助額)		0 (補	助額)	0
	(補助額)		(補助額)			(補助額)		/ 1 25	功額)	
	(州助)		(開助領)			(開助領)		(作用)	り役)	
事業内訳	(補助額)		(補助額)			(補助額)		(補助	助額)	
	(4+ 04 m)									
	(補助額)		(補助額)			(補助額)		(補助	助額)	
	(補助額)		(補助額)			(補助額)		(補且	助額)	
	슴 計	12, 500	合 計]	12, 500	合 計	12, 50	00 合	計	12, 500
	(補助額)	0	(補助額)		0	(補助額)		0 (補」	助額)	0
			224.11	現状値		各年度(の実績値		目標値(目	指す方向性)
	成果指標		単位	(平成29年度)	令和元年	度 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	专令和10年度
(1) 成年後見セン	/ターの設置		か所	0	0	1	1		1	1
	並欠度に引き を	+ . \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	p life to 1 laboration		T-201 2	2.1.4.1	·//	ار علام مالانا م		

前年度に引き続き、海部南部権利擁護センターに委託したことで、成年後見センターの機能を果たしています。また、法人後見受任ガイドラインを整備し、法人後見としての活動を行いました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	障がい者計画に基づき成年後見センターを設置しており、令和3年度は障がい者・高齢者等より215件の相談がありました。要支援者の権利擁護のためには必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	三市町村で行っていた弁護士相談会や啓発活動が権利擁護センターの設置により一括で行え、弁護士や行政書士など専門職の人件費負担軽減にも繋がっています。また、相談件数分の窓口事務等の軽減にも繋がっています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	権利擁護センターは三市町村で設立したものであり、また、関係機関との連携が必要なため、市が実施すべきです。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	権利擁護センターを設置することは、総合計画における 障がい者支援の充実を図るために必要な事業であり、障 がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり に繋がります。

課長意見	万问性
権利擁護に係る相談、成年後見制度のニーズが増加しており、電話、来所、訪問、巡回などの各種相談や申立手続き支援への対応が必要となっております。専門相談員の増員など成年後見支援及び障がい者基幹相談支援の充実を図るため、三市町村で協議の上、運営方法についても改善しながら進めていきます。	改善

		ģ	第2次	総合詞	計画実施計	画事業	評価	シート《令和	3年	度分》			
事業No	第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》 事業No 課 グループ (ロープ)												
(1-2)	成年後	見センター利用	促進事	業				介護高齢課	Ī	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日	
■総合言	計画の位	立置づけ					-						
		基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	頁あふれ	る、健やかでき	もにす	支え合うまち		重点施策	
** -1- =	=1	施策目標	2	高齢者	支援の充実								
基本語	計画	主要施策											
		主要事業	主要事業 成年後見センター設置事業										
		目標3. あら	標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する										
SD(連携:													
		3 すべての人に 健康と福祉を											
		<i>-</i> ₩•											
■事業内	内容【PI												
		認知症などに。 し、安定した! 充実を図ります	日常生活						蟹江	町			
事業	目的		, 0					主な協働・ 関連団体等	飛島	村			
									海部	南部権利擁護セン	/ター		
		高齢や知的障害 めに、契約や則 としての尊厳が	対産管理	里等で不	当な侵害を受	とけたり、	人間		第8	期介護保険計画・	高齢福	a 祉計画	
事業権	概要	させ、法律面がれた地域で自分	や生活は	面で、要	要支援者がいつ	までも信	Èみ慣	関連する					
		します。	η り レ \	、女化し	/に工1日で別化り	· · J / L U / (- 入1欠	個別計画· 根拠法令等					
事業の		開始年度	令和2	年度	終了年度	令和10	年度						
終	1	- DIDA TX	1 2			,. IH2V	- 1 12						

	令和3年原	度(実績)	令 <u>和</u> 3	3年度(計画		令和4	年度(計画)		令和5年/	度(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内		業費 接経費)	内訳 (具体的な内容	事業費 学) (直接経済		内訳 体的な内容)	事業費 (直接経費)
	海部南部権利擁護センター運営等委託料	12, 500	海部南部権利擁護 ンター運営等委託	雙セ 托料	12, 500	海部南部権利擁護 ンター運営等委託	セ料 12,	,500 海部	南部権利擁護セ 一運営等委託料	12, 50
	(補助額)		(補助額)			(補助額)		((補助額)	
	(補助額)		(補助額)			(補助額)			(補助額)	
事業内訳	(補助額)		(補助額)			(補助額)		((補助額)	
	(補助額)		(補助額)			(補助額)			(補助額)	
	(Im <i>9</i>) 19/		(Im 2) 12/			(Im 93 bg)				
	(補助額)		(補助額)			(補助額)		((補助額)	
	合 計	12, 500	合 計	-	12, 500	合 計	12,	500 1	合計 計	12, 500
	(補助額)	0	(補助額)		0	(補助額)		0	(補助額)	(
	成果指標		単位	現状値	令和元年		度の実績値 度 ┃ 令和3年度	令和4年		(目指す方向性 E度 令和10年
1) 成年後見セ	ンターの設置		か所	0	0	1	1		1	1
								1		
								<u> </u>		

指標の分析
対応を行い相談対応の充実を図りました。

■事業の評価【CHECK】

リーナックに	OTILOR,	
項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	認知症となる方の増加、核家族化や高齢化を背景に相談件数は増加しており、令和3年度は112件の相談がありました。権利擁護センターは高齢者の権利擁護のために必要な機関です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	3市町村で行っていた弁護士相談会や啓発活動が権利擁護センターの設置により一括で行うことができ、弁護士や行政書士など専門職の人件費負担軽減にも繋がっています。また相談件数分の窓口事務等の軽減にも繋がっています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	権利擁護センターは3市町村で設立したものであり、また関係機関との連携が必要なため、市が実施すべきです。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	権利擁護センターを設置することは、総合計画における 高齢者支援の充実を図るために必要な事業であり、高齢 者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりに繋 がります。

課長意見	方向性
核家族化や高齢化を背景に、認知症となる方が増加している中、権利擁護センターをNPO 法人に委託し、運営をしています。対象となる高齢者の権利擁護を行っていくために、市民 にとって相談しやすい体制づくりに努めるとともに、3市町村で協議の上、運営方法につい ても改善しながら進めていきます。	北 美

		ĝ	第2次	総合詞	計画実施計	画事業	評価	シート《令和	3年	度分》			
事業No		第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》 実施計画に係る事業名 課 プループ 作											
(1-3)	介護予	防・生活支援サ	ービス	事業				介護高齢課	地	地域包括ケアグループ	令和	14年7月15日	
■総合計	†画の位	位置づけ											
		基本目標	2	【健康	・子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかで共	に支	え合うまち		重点施策	
++ -+ -=	el au	施策目標	2	高齢者	支援の充実								
基本記	汗 凹	主要施策		介護予	·防·生活支援	の総合的	な推進					0	
		主要事業	1	介護予	·防・生活支援	サービス	事業						
		目標3. あら	標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する										
000													
SDC 連携分													
		3 すべての人に 健康と福祉を											
■事業内	内容【PL	_AN]											
		介護予防と生活	舌支援の)充実を	:図ることを目	的としま	す。	ī	你富言	市地域包括支援も	ニンター	-	
事業目	目的							主な協働・ 関連団体等	総合事	事業実施事業所			
		対象に訪問型は	支援者、基本チェックリスト該当者(事業対象者)を 象に訪問型サービスや通所型サービス等の介護予防・ 弥富市第8期介護保険事業計画										
事業相	既要	生店文侫を実质	舌支援を実施します。 関連する										
			関連する 個別計画・ 根拠法令等										
事業の 終う		開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度						

■事業費(単位		÷/=;/*	A 7-	○ 	- \	A 7	<i>5</i>			\	- /=1 \
	令和3年 内訳	支(美額 <i>)</i> 事業費	一	3年度(計画 事	』 <i>)</i> 業費		年度(計画) 	B	内	計和5年原	ま(計画) 事業費
	(具体的な内容)	(直接経費)	(具体的な内	容) (直接	経費)	(具体的な内容	字) (直接経			な内容)	(直接経費)
	通所型サービス 事業支給費	52, 152	通所型サート ス事業支給	ビ 費	73, 628	通所型サービ ス事業支給費	73	, 628	通所型 カス事業ラ		73, 628
	(補助額)	16, 950	(補助額))	23, 929	(補助額)	23	, 929	(補且	功額)	23, 929
	訪問型サービス 事業支給費	9, 287	訪問型サートス事業支給	ビ 費	9, 486	訪問型サービ ス事業支給費	. 9	, 686	訪問型セス事業を	サービ 支給費	9, 886
	(補助額)	3, 019	(補助額))	3, 082	(補助額)	3	, 147	(補貝	力額)	3, 212
事業内訳	介護予防ケアマネジ メント事業支給費	9, 093	一般介護子 事業		7, 373	一般介護予 事業	坊 7	, 373	事業	護予防	7, 373
争未内扒	「補助額」 2,956		(補助額))	2, 396	(補助額)	2	, 396	(補貝	力額)	2, 396
			介護予防ケアマ- メント事業支給	費	13, 743	介護予防ケアマネ メント事業支給費	ジ 13	, 743	介護予防ケアマネジ メント事業支給費		13, 743
	(補助額)		(補助額))	4, 466	(補助額)	4	, 466	(補具	力額)	4, 466
			審査支払手 料	-数	187	審査支払手料	数	187	審査支 料	払手数	187
	(補助額)		(補助額))		(補助額)		60	(補貝	力額)	60
	合 計	70, 532	合言	† 10	04, 417	合 計	104,	617	合	計	104, 817
	(補助額)	22, 925	(補助額)	3	33, 933	(補助額)	33,	998	(補耳	功額)	34, 063
	成果指標		単位	現状値		各年月	度の実績値			目標値(目指す方向性)
	八木 11 保		四年	(平成29年度)	令和元年	F度 令和2年	度 令和3年度	令和	和4年度	令和5年	度 令和10年度
								+			
								_			
					<u> </u>						

■事業の評価【CHECK】

	-	
項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	要支援者、基本チェックリスト対象者(事業対象者)が 要介護状態等になることを防ぐために必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	高齢者の増加に伴い、各サービス事業支給費及びケアマネジメント事業支給費の増加が見込まれるため、費用対効果等を見ながらサービスや事業を見直していく必要があります。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	利用者や事業所の負担を考えると、市が実施すべきで す。また、市が指定した事業所のみサービスを提供でき ます。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	介護予防・生活支援サービスや一般介護予防事業を推進 していくことで、要介護状態等になることを予防し、介 護給付費の抑制につながります。

課長意見	方向性
第8期介護保険事業計画に基づき、より一層介護予防事業に重点を置き、要介護認定率の低下につながる取組を工夫し強化しながら、介護サービス給付費の上昇の抑制にも努めています。	改善改善

- alle			T / T 7 = 44 - 5			<u>-m</u>			//
業No		実施計画	画に係る事業名			課	グルー	ブ	作成日
(1-4) 包括的	力支援事業				5	介護高齢課	地域包括ケアク	グループ	令和4年7月15日
総合計画の	位置づけ						-		
	基本目標	2	【健康・子育て・福	冨祉】笑顔ある	れる、	健やかで共	に支え合うま	ち	重点施策
基本計画	施策目標	施策目標 2 高齢者支援の充実							
主要施策 介護予防・生活支援の総合的な推進							0		
	主要事業	1	包括的支援事業						
	目標3. あら	ゆる年	齢のすべての人々の	健康的な生活	を確保	Rし、福祉を	足進する		
	目標17. 持続	可能な	開発のための実施手	段を強化し、	グロー	-バル・パー	トナーシップ	を活性化	する
000									
SDGs 連携分野									
	3 すべての人に 健康と概念を	17 点缀	・ナーシップで を達成しよう						
	3 すべての人に 保険と報祉を	17 / de	・ナーシップで を選択しよう						
	3 すべての人に 保険と報祉を	17 👸	・ナーシップで を選択しよう						
連携分野	-W∳	e de							
	/√▼ CLAN】 高齢者が住み(ことを目的と)	貫れた地し、弥信	と域で安心して過ごっ 電市地域包括支援セン	/ ター等の業績	筹	4	7.富市地域包括	舌支援セ	ンター
連携分野 事 業内容【 P	/√▼ CLAN】 高齢者が住み(ことを目的と)	貫れた地し、高齢者	地域で安心して過ごさ 富市地域包括支援セン 音の保健・医療の向	/ ター等の業績	第 生 主	_ Eな協働・ _	r富市地域包括 r富市ささえま		
連携分野	/√▼ 	貫れた地し、高齢者	地域で安心して過ごさ 富市地域包括支援セン 音の保健・医療の向	/ ター等の業績	第 生 主	Eな協働・ 引連団体等	r富市ささえ <i>ぁ</i>	あいセン	ター
連携分野 事 業内容【 P		貫れた地 し、弥信 で い で い で い で い で い で り し ま り し ま り し ま り し ま り し ま り ま り し ま り し ま り り ま り し ま り も り ま り も り ま り り も り ま り も り も り も	地域で安心して過ごで 国市地域包括支援セン 番の保健・医療の向_ ・。	ノター等の業績 上と福祉の増始	主	Eな協働・ 引連団体等	r富市ささえ <i>ぁ</i>	あいセン	
連携分野 事 業内容【 P	ー人√◆ PLAN 高齢者が住みた ことを行うことで、を包括的に支払 包括的支援事業が包括的に	買し、高しましてある と実施とと実施されたい。	地域で安心して過ごで 国市地域包括支援セン 所の保健・医療の向した。 こ、介護予防事業や されるために介護予防	ノター等の業系 上と福祉の増え その他の適切が たケアマネジ	・ 注 ・ 関	とな協働・ 引連団体等	r富市ささえ <i>ぁ</i>	あいセン 養連携推	ター 進支援センター
事 業内容【 P	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	貫し、爰 業こ合務と実相、 に施談包括	也域で安心して過ごで 選市地域包括支援セン 資の保健・医療の向上 での保健・医療の向上 での保健・医療の向上 では、介護予防事業やや を接業務、高齢者虐待 を接業続的マネジシ	ノター等の業者 とと福祉の増え その他の適切が ちケア対応なる メント、地域	発生 主関	とな協働・ 引達団体等 石	r富市ささえあ E宅医療・介護	あいセン 養連携推	ター 進支援センター
連携分野 事 業内容【 P	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	貫し、爰 業こ合務也れ、高し と実相、、 はいいます においまればいる とり とり とり はいます にいき 対抗性 かいます いき はいます しん いき はいます しん いき しん しん しん しん しん いき しん	地域で安心して過ごで 選市地域包括支援セン 者の保健・医療の向」 た。 、介護予防事業や されるために介護予防 を接業務、高齢者虐待	ノター等の業別とという。 とりにはいる。 との他のマ対、地域のでする。 は進、認知症が、 には、これでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	発生 はくごで短き関	Eな協働・引連団体等 イ を 関連する 別計画・	r富市ささえあ E宅医療・介護	あいセン 養連携推	ター 進支援センター
事 業内容【 P	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	貫し、爰 業こ合務也れ、高し と実相、、 はいいます においまればいる とり とり とり はいます にいき 対抗性 かいます いき はいます しん いき はいます しん いき しん しん しん しん しん いき しん	也域で安心して過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで 過ごで	ノター等の業別とという。 とりにはいる。 との他のマ対、地域のでする。 は進、認知症が、 には、これでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	発生 はくごで短き関	Eな協働・引達団体等 石	r富市ささえあ E宅医療・介護	あいセン 養連携推	ター 進支援センター

■事業費(単位								
	令和3年月			3年度(計画)		度(計画)		度(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内)	事業費 容) (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	包括的支援事業委託 料(認知症初期集中 支援チーム除く)	36, 000	包括的支援事業 料(認知症初期 支援チーム除く)	集中 36,000	包括的支援事業委託 料(認知症初期集中 支援チーム除く)	36,000	包括的支援事業委託) 料(認知症初期集中 支援チーム除く)	36, 000
	(補助額)	20, 790	(補助額)	20, 790	(補助額)	20, 790	(補助額)	20, 790
	生活体制整備 事業	12, 509	生活体制整 事業	13,803	生活体制整備 事業	13, 803	生活体制整備 事業	13, 803
	(補助額)	7, 224	(補助額)	7, 971	(補助額)	7, 971	(補助額)	7, 971
事業内訳	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合 計	48, 509	合 計	49, 803	合計	49, 803	合 計	49, 803
	(補助額)	28, 014	(補助額)	28, 761	(補助額)	28, 761	(補助額)	28, 761
	成果指標		単位	現状値		の実績値	目標値	〔目指す方向性〕
	沙 太日宗		+12	(平成29年度) 令和元:	年度 令和2年度	令和3年度 令	和4年度 令和5	年度 令和10年度
					1	<u> </u>	<u> </u>	I

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続していくためには、できる限り要介護状態にならないように介護予防への早期の取組みや必要に応じた介護予防サービス等の提供が必要となります。地域包括支援センターへの相談件数は年々増加しており、対前年比38%の伸びとなりました。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	相談件数の増加にも関わらず、包括的支援事業委託料は 前年同額に抑えています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	包括的支援事業の多くを担う地域包括支援センターの設置主体は介護保険法で市とされており、当市では平成18年4月より海南病院に委託しています。また専門職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)が揃う病院に委託するのが妥当と考えます。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	高齢者が要介護状態にならないよう包括的支援事業を実施することは、総合計画における介護予防・生活支援の総合的な推進を図るために必要な事業であり、高齢者支援の充実につながります。

課長意見	方向性
介護予防・生活支援の総合的な推進のためにも、引き続き、地域包括支援センターや居宅介 護支援事業所などの関係機関と連携を図り、包括的支援事業を実施していきます。	現状維持

		j	第2次	総合言	計画実施計	画事業	評価:	シート《令和な	3年度分》				
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課	グル	ープ		作成日	
(2)	認知症予防	坊事業						介護高齢課	高齢福祉	グループ	令和	4年7月15日	
■総合計	画の位置	さ け											
		基本目標	2	【健康	・子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかで共	に支え合う	まち		重点施策	
· - ·		施策目標	2	高齢者	支援の充実								
基本計		主要施策		認知症	施策の推進							0	
		主要事業	業 認知症予防事業 認知症予防事業 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する										
	目	標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の例	建康的な生	生活を	確保し、福祉を	促進する				
000													
SDG: 連携分													
		3 すべての人に 健康と福祉を											
■事業内													
	知	症施策推進約	総合戦略	タ (新オ	ヾ見込まれるな ・レンジプラン ことで認知症予)」に基	づ	ii e	恩知症初期集	真中支援チ	ーム		
事業目	か を	発症した本。 続することを	人、その)家族の)意思を尊重し	た在宅生	活を	主な協働・ 関連団体等	恩知症地域才	反接推進員			
					美、家族支援、 ミカフェを開設		ポー	37	所オレンジフ	プラン			
事業概	要							財圧する	尔富市第8期	胡介護保険	事業計	一画	
								個別計画・ 根拠法令等					
事業の開 終了		開始年度	平成29	年度	終了年度	令和10	年度						

	令和3年原	度(実績)	令 <u>和</u> :	3年度(計画])	令和4年	度(計画)	4	令和5年度	(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内	事: 容) (直接	業費 (長経費) (長	内訳 具体的な内容)	事業費 (直接経費		i訳 対な内容)	事業費 (直接経費)	
	認知症初期集中支援チーム	5, 000	認知症初期集 支援チーム	中	5,000 認支	知症初期集中 援チーム	5, (200 認知症を 支援チー	刃期集中 -ム	5, 000	
	(補助額)	2, 887	(補助額))	2, 887	(補助額)	2,8	887 (補具	助額)	2, 887	
	認知症総合支援 事業費	340	認知症総合 援事業費	100		知症総合支事業費	,	758 認知症 援事業	総合支 費	758	
	(補助額)	197	(補助額))	333	(補助額)	,	333 (補月	助額)	333	
事業内訳	(補助額)		(補助額))		(補助額)		(補	助額)		
	(補助額)		(補助額)	1)		(補助額)		(補]	助額)		
	(補助額)		(補助額))		(補助額)		(補月	助額)		
	合 計	5, 340	合言	t	5, 758	合 計	5, 79	58 合	計	5, 758	
	(補助額)	3, 084	(補助額)		3, 220	(補助額)	3, 22	20 (補)	助額)	3, 220	
	成果指標		単位	現状値		各年度0				指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年月	度 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年周	€ 令和10年度	
2) 認知症サポ	ーター養成研修受詞		人	4, 080	5, 692	6, 184	6, 741		5,000	6,000	
					<u> </u>						

令和3年度の受講者は557人でした。伸び率としては横ばいですが、目標数を上回っています。引き続き、認知症 を発症した方を地域で見守る役割であるサポーターを増やしていきたいと考えます。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	「あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン」によると、認知症高齢者の大幅な増加が見込まれており、国の「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に基づき、継続した事業の実施が必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	平成30年度より認知症地域支援推進員を市内の介護保険 事業所に委託することで、地域で相談できる体制を整え ました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	認知症の本人及び家族に関する情報連携には市が関与すべきであり、運営については市内の5事業所に委託しました。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	認知症施策の推進は総合計画における認知症予防、支援 の為には必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がり ます。

課長意見	方向性
認知症の方や介護する家族に向けて、引き続き支援をしていきます。 認知症家族交流会の参加者が固定化されてきている面もありますので、事業所に委託をしている認知症カフェと組み合わせて気軽に参加できるような環境づくりを行うとともに、市民への周知もあわせて行っていきます。	

	Ş	第2次	総合言		画事業	評価	シート《令和	3年	度分》			
事業No		実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日	
(3) 在	宅医療・介護連携推	進事業					介護高齢課	:	地域包括ケアグループ	令和	14年7月15日	
■総合計画	Īの位置づけ											
	基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかで却	もにこ	支え合うまち		重点施策	
++ -1-=1-	施策目標 -	2	高齢者	支援の充実								
基本計画	主要施策		在宅医	療・介護の連	携強化							
	主要事業	3	在宅医	療・介護連携	推進事業							
	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する											
27.0												
SDGs 連携分野	5											
	3 かくての人に 健康と編纂を											
■事業内容	[PLAN]											
	高齢化の進行に が住み慣れた場 きるよう地域に	地域で自	目分らし	い暮らしを続	けること	がで		在宅	医療・介護連携推	進支担	爰センター	
事業目的	て 気括的かん	つ継続的					主な協働・ 関連団体等					
	医療と介護をすで自分らしいな	生活を紛	売けられ	るように、海	部津島7	市町		弥富	市第8期介護保険	事業記	十画	
事業概要	村により、「注 ター」を共同 進します。また	没置し、	在宅医	療・介護連携	推進事業	を推	関連する					
	相談を受け付けの一介護の切れ目が	ナ、医療	ほと介護	関係者の連携			個別計画• 根拠法令等					
事業の開始 終了	台· 開始年度	平成30	年度	終了年度	令和10	年度						

	令和3年原			度(計画)	令和4年月			和5年度	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内記 (具体的な		事業費 (直接経費)
	在宅医療・介護連携 推進事業	5, 249	在宅医療・介護連携 推進事業 5,815		在宅医療・介護連携 推進事業	5, 815	在宅医療・介護連携 推進事業		5, 8
	(補助額)	3, 032	(補助額)	3, 358	(補助額)	3, 358	(補助	(額)	3, 3
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	額)	
事業内訳	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	(額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	(額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	綑)	
	슴 計	5, 249	合 計	5, 815	合 計	5, 815	合	計	5, 81
	(補助額)	3, 032	(補助額)	3, 358	(補助額)	3, 358	(補助		3, 35
	成果指標		■■単位	見状値 ^{成29年度)} 令和元:	各年度 <i>0</i> 年度 令和2年度		和4年度		目指す方向性 度 ♥ 令和10年
				13/11/05	十尺 7742千尺	יון אַר+סבוויון	шттіх	11/110-11/1	Z 31/1110-T
									+
									-
									+
									+
指標の分析									
事業の評価	(CHECK)								
項目		評価	視点			評価(の結果		
必要性	・住民のために・市民ニーズ、・市民生活上記	社会需要	つであり、求め	られているか		評価類	対象外		
効率性	前年に比べてコストの削減執行体制のタ手段の最適性	載、費用対効果 効率性			評価対象外				
妥当性	・市・住民・日	団体で誰が実施	iするのが良い	か	評価対象外				
策への貢献度	・施策への貢献 ・目標達成度 ・市民サービン					評価が	対象外		
今後の進めた	方【ACTION】				1				
		課長	意見				方	向性	

		ģ	第2次	総合詞	计画実施計	画事業	評価:	シート《令和	3年	度分》		
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日
(4-1)	単位老。	人クラブ育成事	業				介護高齢課	1	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日	
■総合計	画の位	江置づけ										
		基本目標 2 【健康・子育て・福祉】笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち										
44 1 51	施策目標 2 高齢者支援の充実											
基本計	·迪	主要施策		生きが	いづくりの促	進						
		主要事業	4	単位老	人クラブ育成	事業						
		目標3. あら	ゆる年	齢のする	べての人々のイ	建康的な生	上活をは	確保し、福祉を	促進	生する		
SDGs 連携分												
		3 すべての人に 健康と福祉を										
■事業内	容【PL	_AN]										
		高齢者の生きた 業を推している	る福寿会	ミに対し	、明るい長寿	社会の実	現と		弥富	市社会福祉協議会	ŧ	
事業目		健康福祉の向_ 促進を図りまっ		すするも	っのとし、その	活動・事	業の	主な協働・				
子 本日	17							関連団体等				
		w +	- 136 \44) -	- V/m) - v	5 37 37/ LL - to	<u> </u>	/ 1=					
		高齢者の福祉の 寿会) の活動					(催		弥富	市第8期高齢者福	4社計画	Ī
事業概	要							関連する				
								個別計画・ 根拠法令等				
 事業の開	計台•		<u> </u>	,								
終了		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度					

■事業費(単位										
		F度(実績)		令和3年度(計画) 内訳 事業費			度(計画)		令和5年度	
	内訳 (具体的な内容	事業費) (直接経費)	内訳 (具体的な内			内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費		i訳 な内容)	事業費 (直接経費)
	単位老人クラス補助金	5, 376	単位老人ク ブ補助金	ラ	5, 460	単位老人クラ ブ補助金	5,	460 単位老 ブ補助	人クラ 金	5, 460
	(補助額)	1, 476	(補助額)	1, 675	(補助額)	1,	675 (補具	助額)	1,675
	老人クラブ連合会補助金	1,020	老人クラブ	連		老人クラブ連 合会補助金	1,	020 老人ク 合会補	ラブ連 助金	1, 020
	(補助額)	302	(補助額)	311	(補助額)		311 (補具	助額)	311
事業内訳	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補	助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補	助額)	
	(補助額)		(補助額	i)		(補助額)		(補]	助額)	
	合 計	6, 396	合 i	計 6,480		合 計	6, 48	80 合	āl	6, 480
	(補助額)	1, 778	(補助額)		1,986	(補助額)	1, 98	86 (補)	助額)	1, 986
	成果指標		単位	現状値		各年度	の実績値		目標値(目指す方向性)
	/XX1111X			(平成29年度)	令和元年	度 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年	度 令和10年度
							_	_		
				1					1	

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	高齢者の生きがいづくりと健康づくりに資する活動・事業を行っている64箇所の単位老人クラブに対し、活動を継続するために必要な支援です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	福寿会の活動が円滑に行えるようにするためには、効率 的な支援制度です。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	単位老人クラブの活動には、地域での見守りとして高齢者の引きこもり防止や安否確認も含まれており、地域活動支援として市が実施することが妥当と考えます。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	単位老人クラブの育成は総合計画に掲げる高齢者の生きがいづくり促進のため必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

課長意見	方向性
会員の減少傾向にある中、引きこもりや認知症の高齢者の増加を防ぐためにも、単位老人ク ラブ(福寿会)の活動等に対し、引き続き支援をしていきます。	現状維持

		ģ	第2次	総合詞	计画実施計	画事業	評価	シート《令和	3年	度分》					
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日			
(4-2)	シルバ	一人材センター	育成事	業				介護高齢課	ī	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日			
■総合計	十画の位	位置づけ													
		基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかでき	もにこ	支え合うまち		重点施策			
		施策目標	2	高齢者	支援の充実										
基本語	計画	主要施策		生きが	ときがいづくりの促進										
		主要事業	4	シルバ	一人材センタ	一育成事	業					1			
		目標3. あら	ゆる年	齢のする	べての人々の作	建康的な	生活をは	確保し、福祉を	·促進	<u></u> 生する		l			
SD(
連携分	力野														
		3 すべての人に 健康と福祉を													
		<i>-</i> ₩•													
■事業内	内容【PL														
		高齢者が地域社会を提供する。	ことを目	的とし	て、高齢者の	就業機会	確保		弥富	市シルバー人材も	ニンター				
事業[目的	の受け皿である 営を支援しまっ		バー人材	ヤンターに対	けし、円滑	な運	主な協働・							
ナベト	н н у							関連団体等							
		高齢者の就業権 ターに対し、i					ナセン		弥富	市第8期高齢者福	a祉計 區	町			
事業相	新 英							98 1 ± - 1 -7	高齢	者等の雇用の安定	マに関っ	トス法律			
— 平 米1								個別計画・	1~1 ml	日 4 ~/邑/日~ 久八	_(-15)	, ver			
						_		根拠法令等							
事業の終う		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度								

■事業費(単位	2: 千円/【DO】 令和3年/	並(宝結)	今和'	3年度(計画	·)		和4年	度(計画)			₹和5年	度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内	事業	養	 内 (具体的	訳	事業費(直接経費	B)	 内 (具体的	訳	事業費 (直接経費)	
	弥富市シルバー人材 センター補助金					弥富市シルバー人材 センター補助金				02 弥富市シルバー人材 センター補助金		20, 402	
	(補助額)		(補助額))		(補且	力額)			(補且	力額)		
	(補助額)		(補助額))		(補且	力額)			(補且	力額)		
事業内訳	(補助額)		(補助額))		(補耳	力額)			(補耳	力額)		
	(補助額)		(補助額))			(補助額)		(補且		力容()		
	(補助額)		(補助額)			(補助額)				(補助額)			
	合 計	19, 402	合言	† 2	0, 402	合	計	20, 4	.02	合	計	20, 402	
	(補助額)	0	(補助額)	TB.44./±	0	(補具			0	(補耳		0	
	成果指標		単位	現状値	令和元年		各年度の 12年度		令和	04年度	令和5年	目指す方向性) 度 令和10年度	

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	令和3年度末において、182名の会員登録があり、高齢者の安定した就業確保の為にはシルバー人材センターへの運営支援は必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	高齢化を背景に年々業務量が増加している中、補助額は 据え置きとしています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	多くの高齢者の就労機会が確保できるのは、シルバー人 材センターだからこそであり、市が補助することが妥当 です。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	高齢者が安定して就業できるようシルバー人材センターを支援することは、総合計画に掲げる高齢者の生きがいづくりのためにも必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

l	課長意見	方向性
	シルバー人材センターにおいて多くの高齢者が会員として仕事をされており、引き続き補助 を行っていくことで高齢者の安定した就業確保を図っていきます。なお、事務の効率化及び コスト削減のため、令和4年度から弥富市シルバー人材センター十四山支所の機能を本所に 統合していきます。	改善

	9	第2次	総合言	計画実施計	画事業	評価:	シート《令和	3年	度分》				
事業No	-	実施計	画に係る	事業名			課		グループ		作成日		
(4-3) ささえ	あいセンター事					介護高齢課	店	高齢福祉グループ	令和	口4年7月14日			
■総合計画の個	位置づけ												
	基本目標	2	え合うまち		重点施策								
# 	施策目標	高齢者	支援の充実										
基本計画	主要施策	4	生きが	ききがいづくりの促進									
	主要事業	4	ささえ	あいセンター	事業								
	目標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の(建康的な生	三活を4	確保し、福祉を	促進	する				
	■ 目標17. 持続	可能か	開発の	ための実施手		グ	ローバル・パー	-トナ	 ーシップを活性	化する			
	H 10/11.	. 1 1111.9	1011 70 42		× 2 13 10 0					۵ (۱۱ ا			
SDGs 連携分野													
医肠刀虫													
	3 すべての人に 健康と福祉を	17	バートナーシップ 目標を達成しよ	т Э									
	<i>-</i> ₩ •		88										
■事業内容【P													
	地域社会に貢献 センターを通し							弥富市	市ささえあいセ	ンター			
事業目的	や障がい者手帧 助けを行うこと	こで、t	也域に貢				主な協働・						
争耒日的	いづくりの場を	を提供し	します。				関連団体等						
	利用したい人 が「ささえあ <i>い</i>							弥富市	市第8期高齢者	福祉計 區			
	ターが利用会員し、サービスを	員の困り	事ニー										
事業概要		- NEIV	~ ~ 7 o				関連する 個別計画・						
							根拠法令等						
事業の開始・	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度							
終了	一	₩,40	十反	一下了千尺	DIANTO	十/又							

	並:千円)【DO】 令和3年原	度(実績)	令和	3年度(計画	1)	令和	4年月	变(計画)		숙	3和5年度	度(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内	事	業費 接経費)	内訳 (具体的な内		事業費 (直接経費	動		訳	事業費 (直接経費)
	ささえあいセンター 利用料助成金	759	ささえあいセン 利用料助成金	ター	738	ささえあいセン 利用料助成金	ター		738	ささえあい 利用料助成	ヤンター t金	73
	(補助額)		(補助額)		(補助額	j)			(補貝	力額)	
	車両管理費	549	車両管理費	t	703	車両管理費	ŧ		703	車両管	理費	70
	(補助額)		(補助額)		(補助額	j)			(補貝	力額)	
事業内訳	(補助額)		(補助額			(補助額				(補且	+ 安古 \	
	(補助領)		(補助領)		(相助領	.)			(作用 乌	力領)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額	j)			(補貝	力額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)			(補具	加額)	
	合 計	1, 308	合言	†	1, 441	合言	H	1, 4	141	合	計	1, 441
	(補助額)	0	(補助額)		0	(補助額)			0	(補耳		0
	成果指標		単位	現状値	令和元年)実績値 令和3年度	令和	和4年度		目指す方向性) 度 令和10年度
4) ささえあい	センター事業活動	寺間	時間	10, 278	11,660	0 8, 24	1	7, 913			12, 100	12, 400
指標の分析	コロナ禍で一部 た。また、定期	『支援を縮小し 明的な活動もあ	た内容があり、高齢者	oったため fの生きが	、活動時 いづくり	#間は減少 の時間を	しま 作る	したが、根 ことができ	既ねらた。	要望に対 と考えま	けする支持 さす。	援ができまし
■事業の評価	[CHECK]											
- , >												

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	ささえあいセンター事業は、介護保険適応サービス外の 生活支援サービスを行っており、それらを必要とする利 用者にとってはなくてはならない事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	家族形態の変化に伴い、生活支援サービスの多様なニーズに対応するためには、より多くの協力会員が必要になります。そのため広報誌やSNSを活用し、募集を行っています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	市直営の運営事業のため、次年度以降に委託事業等へ移行することも念頭に調査・検討を行っていきます。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	ささえあいセンター事業は、総合計画に掲げる生きがいづくりの促進及び高齢者福祉サービス等の提供に必要な事業であり、高齢者支援の充実に繋がります。

課長意見	方向性
ささえあいセンターの活動は、利用会員の増加とともに要望や支援の内容も多岐にわたる中、安全かつ利用会員に喜ばれる事業とするためにも、協力会員向けの研修の実施や新規協力会員の募集を行っていきます。また、関係機関等の意見を聞きながら事業の委託など運営方法について検討していきます。	

		\$	第2次	総合詞	计画実施計	画事業	評価:	シート《令和	3年	度分》				
事業No			実施計画	画に係る	事業名		課		グループ		作成日			
(6-1)	給食サ	ービス事業						介護高齢課	:	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日		
■総合計	画の位	江置づけ												
		基本目標	2	【健康	子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかでき	共に	支え合うまち		重点施策		
#+=	el cas	施策目標	2 高齢者支援の充実											
基本記	干	主要施策		高齢者	福祉サービス	等の提供								
		主要事業	6	給食サ	ービス事業									
		目標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の例	建康的な生	三活をで	確保し、福祉を	· 促t	進する				
SDC 連携タ														
,_,,,														
		3 すべての人に 健康と福祉を												
		<i>-</i> ₩•												
■事業内	PL	_	Ø 7, Ⅲ.#	+) L.L. 1	∳ ∧ ♠ □L → ×	ショナーロャー	上フ 【							
		独居・高齢者のことにより、何 安否確認を目的	健康保持	好及び孤	独感の解消を	図り、ま	た、							
事業目		グ音雑誌を目 できるように	ります。	同断石	が女心した仕	七生伯が	孙还形近	主な協働・ 関連団体等						
								民廷団体守						
		高齢者や重度の	の暗がい	きのも	また 自宅への	お弁当の	町湊							
		同師有や単及 サービス又は ター内喫茶室	総合福祉	Ŀセンタ	'一・十四山総	合福祉セ			弥富	『市第8期高齢者福	新祖計	<u> </u>		
事業根	既要	7 门天小王((-401)) IX IX I		10470		関連する						
								個別計画· 根拠法令等						
古光色	88 4 / >													
事業の[終]		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度							

■事業費(単位			4 / 4 / 4 .					A 7- 1-	/- I ·				- / = I
		13年月	度(実績)		3年度(計			令和4年				和5年度	
	内訳 (具体的な)	内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な)		業費 接経費)	(具体	内訳 本的な内容)	事業費 (直接経費	<u>(</u>	内 (具体的	訳 な内容)	事業費 (直接経費)
	給食サービ 業委託料		11, 669	給食サービ 事業委託料	`.\.	12, 229		サービス 委託料	13,	461	給食サー 事業委託	-ビス	14, 69
	(補助客	頁)		(補助額	()		(1	補助額)			(補助	物額)	
	利用券印本費	刷製	109	利用券印 本費	刊製	115	利用本費	券印刷製		115	利用券I 本費	印刷製	11
	(補助額	頁)		(補助額	[)		(1	補助額)			(補助	物額)	
事業内訳	(補助客			(補助額	[)		(1	補助額)			(補助	物額)	
	(補助名	百)		(補助額	5)		(4	補助額)			(補助	h額)	
	(110-23 14			(110-2212			Ì	1111-22 11207			(Tillar)	3 1307	
	(補助客			(補助額			/-	補助額)			(補助	L ゆろ)	
	(相助名	貝)		(補助器	Į)		(1	開助領)			(相以]領()	
	合	計	11, 778	合	it	12, 344	台	情行	13, 5	76	合	計	14, 808
	(補助額	i)	0	(補助額)	0	((補助額)		0	(補助	葡)	C
	成果指	煙		単位	現状値			各年度0	D実績値			目標値(目指す方向性
	/X.X.15	11275		+12	(平成29年度)	令和元:	年度	令和2年度	令和3年度	令和	口4年度	令和5年	度 令和10年
						-							
6) 給食サービス利用	者数 (配食サ	ービス・	・給食サービス利用券	\$) 人	618	622		500	628			680	730
						1	1						

配食サービスについては、夕食も選択できるようにしたことにより利用者が大きく増加しました。 また、コロナ禍で両福祉センターで利用可能な給食チケットの利用者数は横ばいですが、利用方法の特例(臨時休 館時の分を翌月にも利用できるようにした)を設けたことにより利用枚数は大きく増加しました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	給食サービスは自炊できない人に対し、栄養バランスの 良い食事が提供でき、また給食サービスは外出の促しに もつながり、多くの需要があります。更に配食サービス は見守り活動の一環でもある為、必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	見守り活動及び健康的な食生活の確保のためには効果的な支援制度です。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	事業の一部を民間委託しており、適正に運営されています。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	高齢者のみ世帯の「食」を支える事業として継続した事業が必要であり、総合計画に掲げる高齢者支援の充実に繋がります。

課長意見	方向性
ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増加傾向にある中、介護予防において重要となる 「食」について、引き続き支援していきます。	現状維持

		Ŷ	第2次	総合詞	計画実施計	一画事業	評価	シート《令和	3年	度分》		
事業No			実施計	画に係る	事業名			課		グループ		作成日
(6-2)	緊急通	報システム事業	4					介護高齢課	:	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日
■総合計	十画の位	位置づけ										
		基本目標	2	【健康	・子育て・福	ā祉】笑 颜	[あふれ	る、健やかで	共にす	支え合うまち		重点施策
++ -1- =		施策目標	2	高齢者	支援の充実							
基本語	計画	主要施策		高齢者	福祉サービス	×等の提供	.					
		主要事業	6	緊急通	報システム事	季業						
		目標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の	健康的な	生活を	確保し、福祉を	- 促進	する		
SDC 連携分												
		2.5										
		3 まべての人に 健康と福祉を —///◆										
■事業内	内容【PI											
		ひとり暮らしれるため緊急は	通報用 模	後器等を	貸与し、日常	常生活上の						
事業[目的	を軽減し、円泊	常な牧り	刃を安け	「られるように	こします。		主な協働・ 関連団体等				
								月 建凹冲守				
		所得税非課税	世帯で	7Nト N	暮らし喜齢を	きや要介護	集 3 カン					
		ら要介護5該 身体障がい者	当者を招	包える高	が齢者世帯、で	ひとり暮ら	しの		弥富	市第8期高齢者補	虽祉計画	Ī
事業相	既要	機器等を貸与し				. ,,, _ ,	- ,,,,,	関連する				
								個別計画• 根拠法令等				
事業の 終っ		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度					

	令和3	4厘	度(実績)	令和3年度(計画)			令和4年		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内	容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内		業費 経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費	E)	内 (具体的		事業費 (直接経費)
	緊急通報装借上料	置	184	緊急通報等 借上料	美置	334	緊急通報装置 借上料		334	緊急通 借上料	報装置	33
	(補助額)	甫助額)		(補助額)		(補助額)			(補具	力額)	
	福祉電話保 委託料	309		福祉電話係 委託料		346	福祉電話保守 委託料	1	346	福祉電 委託料	話保守	34
	(補助額)			(補助額)		(補助額)			(補貝	力額)	
事業内訳	福祉電話架料	福祉電話架設 料		福祉電話外 料			福祉電話架設 料	ť	38	福祉電 量	話架設	3
于木门机	(補助額)			(補助額)		(補助額)	1		(補助額)		
	緊急通報業 委託料	務	2, 792	緊急通報業 委託料	紧急通報業務 長託料		緊急通報業務 委託料	2,	455	委託料		2, 45
	(補助額)			(補助額)		(補助額)			(補具	力額)	
	電信電話料		47	電信電話料	信電話料		電信電話料		47	電信電	話料	4
	(補助額)			(補助額)		(補助額)			(補且	力額)	
	合 計	-	3, 450	合 i	+	2,811	合 計	3, 2	20	合	計	3, 220
	(補助額)		0	(補助額)		0	(補助額)		0	(補耳		0
	成果指標	Ę		単位	現状値			の実績値				目指す方向性)
					(平成29年度)	令和元年	Ē 令和2年度	令和3年度	令和	和4年度	令和5年	度 令和10年度
6) 緊急通報シス	ステム利用者数	<u></u>		人	86	90	98	106			100	120
											1	

電話回線を必要としない機種の導入とひとり暮らし高齢者の増加により、設置者数が徐々に増えており、目標数値 を上回りました。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性		ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、急変時や事故等 の緊急事態に対処する必要があることから、緊急通報装 置の設置が必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	ひとり暮らし高齢者の増加、家族関係の変化に伴い、見守りや駆け付けサービスを主眼においたサービスへ徐々に移行するとともに経費を削減しています。
妥当性		24時間体制で緊急時見守りや相談に対応できるように民間事業者に委託しています。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	緊急通報装置を設置することで円滑な救助要請等が可能 となり、高齢者の安全・安心につながります。

課長意見	方向性
ひとり暮らし高齢者が増加傾向にあり、事故等の緊急事態に対処する必要があるため緊急通 報装置の必要性が高まっています。高齢者の命を守るため、引き続き支援していきます。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》 事業No 実施計画に係る事業名 課 プループ 作成日														
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日		
(6-3)	高齢者	等福祉タクシー	·料金助	成事業				介護高齢課	7	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日		
■総合計	計画の位置づけ													
		基本目標	2	【健康	・子育て・福	祉】笑顔あ	ふれ	る、健やかでき	もにろ	支え合うまち		重点施策		
基本語	计画	施策目標	2	高齢者	支援の充実									
本个品	i I 🖭	主要施策	6	高齢者	福祉サービス	等の提供								
		主要事業		高齢者	高齢者等福祉タクシー料金助成事業									
		目標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の値	建康的な生活	舌を荷	権保し、福祉を	·促進	生する				
		目標11. 包摂	的で安	全かつ	強靱(レジリニ	エント) で拝	寺続「	可能な都市及び	人間	居住を実現する				
SDC	7.													
連携分														
		3 まべての人に 健康と福祉を —///◆	11 [£]	み続けられる ちづくりを										
■事業内	内容【Pl	_AN]												
市 樂 [⊐ 66	バス等の一般3 齢者及び免許込 手段としてタク し、福祉の向_	返納者に ケシーを	⊆対し、 ⊵利用す	病院や買い物	などへの移	動	主な協働・						
争未定	事業目的 関連団体等 関連団体等													
		要支援・要介証返納者が、外に	出時にタ	クシー	-を利用する場	合に限り、	料		弥富	市第8期高齢者福	ā祉計画	Ī		
事業相	既要	金の基本料金別には年間36枚を				なお、利用	者	関連する						
								個別計画・根拠法令等						
事業の 終う		開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10 年	度							

	½:千円)【DO】	芰(実績)		3年度(計画	ī)	令和4年月	度(計画)		和5年度	(計画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費(直接経費)	内訳 (具体的な内]訳 事業費]な内容) (直接経費)		内訳 内訳 具体的な内容)	事業費(直接経費)	内 (具体的	訳	<u>事業費</u> (直接経費)
	タクシー料金 助成費	8, 547	タクシー* 助成費	4金	9, 160 月	タクシー料金 助成費	9, 16	0 タクシ 助成費	一料金	9, 16
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	物額)	
	利用券印刷製本費	140	利用券印刷 本費	刂製	144	刊用券印刷製 体費	14	4 利用券 本費	印刷製	14
	(補助額)		(補助額)	20	(補助額)	2	0 (補助	物額)	2
事業内訳	(補助額)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(補助額)		(補助額)		(補助)額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	物額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助	物額)	
	슴 計	8, 687	合言	+	9, 304	合 計	9, 304	合	計	9, 306
	(補助額)	0	(補助額)		20	(補助額)	20	(補即		20
	成果指標		単位	現状値		各年度 <i>0</i>				指す方向性
				(平成29年度)	令和元年	度 令和2年度	令和3年度 名	和4年度	令和5年度	令和10年
	祉タクシー料金助 _月	basil maybe all state also st	女 人	701	935	961	1,058		750	800

指標の分析 申請者数は毎年増加しており、目標数値を大きく上回っています。

■事業の評価【CHECK】

-F.D	======================================	== /# a /# #
項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	令和3年度には1,058名の利用がありました。日常生活において移動が困難な高齢者にとっては、外出支援の為に必要な事業です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	一般タクシーと福祉タクシーを合わせて、令和3年度に 利用できるタクシー事業者は25社の登録となり、利用者 の選択肢が更に増え、利便性が向上しました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	タクシー料金の一部助成を行うため、市が実施すべきで す。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	高齢者による交通事故や要介護認定者、事業対象者など の支援が必要な高齢者が増加する中、移動手段の確保と して必要な事業です。

	課長意見	方向性
2	公共交通機関の利用等が困難な高齢者が増加する中、引き続き移動手段の確保のため支援を していきます。	現状維持

		j	第2次	総合詞	計画実施計	画事業	評価:	シート《令和	3年	度分》		
事業No			実施計画	画に係る	事業名			課		グループ		作成日
(6-4)	寝具洗	濯乾燥消毒サー	-ビス事	業				介護高齢課	i	高齢福祉グループ	令和	14年7月15日
■総合計	†画の位	位置づけ										
		基本目標	2	【健康	・子育て・福	祉】笑顔	あふれ	る、健やかで却	もにこ	支え合うまち		重点施策
		施策目標	2	高齢者	支援の充実							
基本記	計画	主要施策		高齢者	福祉サービス	等の提供						
		主要事業	6	寝具洗	濯乾燥消毒サ	ービス事	業					
		目標3. あら	ゆる年	齢のす	べての人々の優	建康的なな	生活を	確保し、福祉を	促進	進する		
SDC 連携分												
		3 まべての人に 健康と福祉を										
■事業内	内容【PI											
		おおむね65歳 する要介護度 で、寝具の衛	3~5に 生管理等	ニ該当す	一る者、重度の 性な高齢者等に	身体障が対し寝具	い者 の洗					
事業目	目的	濯乾燥消毒サー 的な在宅生活の	ービスを	と提供す	つることにより	、健康で	衛生	主な協働・ 関連団体等				
		概ね65歳以上の要介護度3~	5の該当	者、重	直度の身体障が	い者に対	し、		弥富	市第8期高齢者福	a祉計 國	Ī
事業机	既要	掛布団・敷布 洗いを実施しる 負担(300円/	ます。な	お、世	世帯の所得状況	により利		関連する				
		東担 (300円/	四 / で	v '/_/⊂	\ 勿口 パのりる	⋏ У 。		個別計画· 根拠法令等				
事業の		開始年度	平成18	年度	 終了年度	令和10	年度_					
終.			1 ////10	- T 1X		14 THIO						

	令和3年原	度(実績)	令和	口3年度	(計画	<u> </u>		令和4年	度(計画)		숙	和5年原	度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な		事第 (直接	業費 経費)		内訳 的な内容)	事業費 (直接経費	ġ)	内 (具体的		事業 (直接約	費 圣費)
	寝具洗濯乾燥消毒 サービス事業委託料	282	寝具洗濯乾燥 サービス事業	消毒 委託料		480	寝具洗液サービ	翟乾燥消毒 ス事業委託料		480	寝具洗濯戟 サービス事	燥消毒 等委託料		480
	(補助額)		(補助額	湏)		0	(补	前助額)		0	(補貝	カ額)		
	(補助額)		(補助額	預)			(神	(東京)			(補耳	力額)		
事業内訳														
	(補助額)		(補助額	預)			(神	輔助額)			(補助	力額)		
	(補助額)		(補助額	預)			(補助額)			(補且		力額)		
	(補助額)		(補助額	預)			(補助額)				(補助額)			
	合 計	282	合	計		480	合	計	4	80	合	計		480
	(補助額)	0	(補助名	Ē)		0	(1	哺助額)		0	(補耳	物類)		0
	成果指標		単位		伏値 29年度)	令和元年	F度 ⁴	各年度 <i>0</i> 令和2年度)実績値 令和3年度	令	和4年度	目標値(目指す方 度 令和	
							+						+	
													#	
	燥消毒サービス申記				15	47		45	52				\bot	65

市広報や地域のサロン活動での出前講座等にてサービスの周知を行ったことで目標数値に近づくことができまし ^と。

■事業の評価【CHECK】

	-	
項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	自ら布団の洗濯等ができない人のために、衛生的な在宅 生活を支援する必要があります。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性	利用者負担の増加や対象範囲の縮小は利用者減に繋がり、衛生面が保たれない可能性があります。そのため、 寝具の衛生管理のためには効率的なサービスです。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	事業の一部を民間委託しておりますが、利用対象者の状況を把握し、安価(負担なしを含む)にサービスを提供するためには、市が実施すべきです。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	寝具の衛生管理等が困難な高齢者等が衛生的な在宅生活 を送るためには必要な事業であり、総合計画に掲げる高 齢者支援の充実に繋がります。

課長意見	方向性
高齢者が増加傾向にある中、寝具の衛生管理等が困難な高齢者等に対し、衛生 整える支援として、引き続き取り組んでいきます。	現状維持

6-5) ささえあいセンター事業 (再掲) 介護高齢課 高齢福祉グループ 令和4年7月15日 総合計画の位置づけ			第2次約	⁸ 合計画実施計	画事業評価	シート《令和	3年度分》				
	業No		実施計画(に係る事業名		課	グループ	作成日			
基本目標 2	(6-5) さき;	えあいセンター事	事業 (再掲	3))		介護高齢課	高齢福祉グループ	令和4年7月15日			
施策目標 2 高齢者支援の充実 古要集業 6 高齢者福祉サービス等の提供 立まま業 6 さえあいセンター事業 (再掲) 日標3. あらゆる年齢のオペての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する 日標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・バートナーシップを活性化する 17 議議 17 議議 18 18 19 19 19 19 19 19	総合計画の	 位置づけ				I					
主要施案 6 高齢者福祉サービス等の提供 主要事業 6 さえあいセンター事業 (再掲) 目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する 日標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・バートナーシップを活性化する 2 2 2 2 2 2 2 2 2		基本目標	2	【健康・子育て・福	冨祉】笑顔あふれ	いる、健やかでき	共に支え合うまち	重点施策			
主要事業 6 高齢者福祉サービス等の機供 さえないセンター事業 (再掲) 目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する 目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する 1標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する 2 2 2 2 2 2 2 2 2		施策目標	施策目標 2 高齢者支援の充実								
主要事業 ささえあいセンター事業 (再掲)	基本計画	主要施策		高齢者福祉サービス	等の提供						
■		主要事業	-	ささえあいセンター	-事業(再掲)						
		目標3. あら)ゆる年齢	のすべての人々の	健康的な生活を	確保し、福祉を	促進する				
■		目標17. 持続	見可能な開	見発のための実施手	段を強化し、グ	`ローバル・パー	-トナーシップを活性	化する			

	令和3年原 内訳	变(実績) 事業費	令和: 内訳	3年度(計區 事	画) 業費		令和4年 内訳	度(計画)			予和5年 訳		†画) 事業費
	(具体的な内容) ささえあいセン	(直接経費)	(具体的な内	容) (直	接経費)		体的な内容)	(直接経費)		な内容)		接経費)
	ター利用料助成金	759	ンター利用 助成金		738		マー利用料			ンター和助成金			73
	(補助額)		(補助額)			(補助額)			(補具	力額)		
	車両管理費	548	車両管理費	ŧ.	703	車両	両管理費		703	車両管	理費		70
	(補助額)		(補助額)		((補助額)			(補貝	力額)		
事業内訳	(補助額)		(補助額				(補助額)			(補貝	十 安百)		
	(Im 4) TEX		(III 19) T.R.	′ 		,				(Im 4	V) TOO!		
	(LAB 1 ± T.)		(1-b-p1 +				(LABI 47)			/ L-b-=			
	(補助額)		(補助額)		((補助額)			(補且	刃額)		
	(補助額)		(補助額)		((補助額)			(補具	功額)		
	合 計	1, 307	合言	+	1, 441	1	合 計	1, 4	41	合	計		1, 441
	(補助額)	0	(補助額)		0		(補助額)		0	(補耳			C
	成果指標		単位	現状値	令和元:	年		の実績値 令和3年度	수 :	11/1年度			す方向性
				(干級23平及)	ተን ተፈንር-	十尺	7和2千及	7110千度	73 1	山牛牛皮	T) 71 0 -	十尺	77 74 10 44 17
4) ささえあい	センター事業活動	時間	時間	10, 278	11, 66	60	8, 241	7, 913			12, 10	00	12, 400
指標の分析	コロナ禍で一部た。また、定期	邓支援を縮小し 明的な活動もあ	た内容があり、高齢者	うったため 斉の生きが	、活動時いづくり	寺間のの	は減少しま時間を作る	したが、概	Eね要 たと	要望に対さ考えま	けする支 ミす。	で援が	できま
	た。また、定期	邪支援を縮小し 明的な活動もあ	た内容があり、高齢者	うったため	、活動師いづくり	持間の	は減少しま時間を作る	したが、根	となったと	要望に対と考えま	ナする支 ミす。	で援が	「できま」
指標の分析 ■ 事業の評価 項目	た。また、定期	期的な活動もあ	た内容があり、高齢者	っったため	、活動 ^い いづく !	持間のの	は減少しま時間を作る	ことができ	たと	要望に対きませる。	けする支	で援が	できまし
■事業の評価	た。また、定期 【CHECK】	明的な活動もあ	視点	音の生きが	いづくり	9 OF	時間を作る	ことができ	た ² 価 0	と考えす D結果	す。 		
■事業の評価	た。また、定期 【CHECK】 ・住民のためし ・市民ニーズ、	明的な活動もあ 評価 に効果的なもの 、社会需要	視点	音の生きが	いづくり	かの日 さる	時間を作る さえあいセ 舌支援サー	ことができ ア シター事業 ビスを行っ	たるにはています。	c 考えま の結果 介護 のよう のよう のよう のよう のよう のよう のよう のよう のよう のよう	す。 	サーツの	ビス外の
■事業の評価 項目	た。また、定期 【CHECK】 ・住民のためは	明的な活動もあ 評価 に効果的なもの 、社会需要	視点	音の生きが	いづくり	かの日 さる	時間を作る さえあいセ 舌支援サー	ことができ	たるにはています。	c 考えま の結果 介護 の かり、そ	す。 	サーツの	ビス外の
■事業の評価 項目	た。また、定期 【CHECK】 ・住民のためい ・市民ニーズ、 ・市民生活上。	期的な活動もあ 評価 に効果的なもの 、社会需要 必要であるか てどのようにコ	視点 であり、3 こ夫したのな	その生きが 求められて	いづくり	ののいっち生用家が	時間を作る さえ を きえ を き き き き き を と っ て で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で	ことができ コンター事業 ビスを行っは はなくては 化に伴い、	たる価はてなり生活	さ考えまか計果介的、いいまがは、がいいまできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできないできない<td>ミす。 一般適応をする。 でする。</td><td>サー要の多</td><td>ビス外の とする和 様なニー</td>	ミす。 一般適応をする。 でする。	サー要の多	ビス外の とする和 様なニー
■事業の評価 項目	た。また、定集 (CHECK) ・住民のためい。市民ニーズ、・市民生活上。 ・前年に比べ、コストの削込	期的な活動もあ 評価 に効果的な場 、社会需要 必要であるか てどのようにコ 域、費用対効界	視点 であり、3 こ夫したのな	その生きが 求められて	いづくり	ののはさ生用家が	時間を作る さま支援と を対対して で変る	ことができ コンター事業 ンター事ではなくては 化に伴い、 ためには、	たとはてなり、まられる	さ考えまか合うないおっないまっない接くできるく	(す。(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)	サル要の負が	ビス外6とする私様なニー
■ 事業の評価 項目 必要性	た。また、定期 【CHECK】 ・住民のためい ・市民ニーズ、 ・市民生活上。	明的な活動もあ 評価 に効果的な場 、社会であるか てどのようにコ 域、費用対効果 効率性	視点 であり、3 こ夫したのな	その生きが 求められて	いづくり	ののはさ生用家べり	時間を作る さま支援と を対対して で変る	ことができ ヨ シターをく なく 化にはな 化に、広報	たとはてなり、まられる	さ考えまか合うないおっないまっない接くできるく	(す。(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)(声)	サル要の負が	ビス外 <i>0</i> とする 4 様なニー
■事業の評価 項目 必要性	た。また、定期 (CHECK) ・住民のためい。 ・市民ニニ活上が ・前年に比の削が、 ・執行体制のです。 ・手段の最適相	明的な活動もあ 評価 に効果的なもの、 社会であるか であるか てどのようにコ 域、費用対効界 効率性	視点 であり、2 こ夫したのだ	茶の生きが 求められて	いづくり	ののいきとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	時間を作る さえまを さま支援と が対し、いずそこまって で変るのするのす	ことができ シター事業 ビスをくては なくては 化に伴い、 ため、広報	たる価値はてな一生よ誌	と考えま の結果 介が、い事 がまい事 であるない事 であるない事	(す)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)	サル要の員し、	ビス外4 とする1 様なニー 様変集を
■事業の評価 項目 必要性	た。また、定期 (CHECK) ・住民のためい。 ・市民ニニ活上が ・前年に比の削が、 ・執行体制のです。 ・手段の最適相	明的な活動もあ 評価 に効果的な場 、社会であるか てどのようにコ 域、費用対効果 効率性	視点 であり、2 こ夫したのだ	茶の生きが 求められて	いづくり	ののいると生用を変えり行を正確している。	時間を作る さきます。 さきます。 さきます。 できるのするのするのするのするのする。 できるのするのするのするのする。 できるのするのするのするのする。 できるのするのするのするのする。 できるのするのするのする。 できるのするのでは、 できるのするのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、 できるのでは、	ことができ ヨ シターをく なく 化にはな 化に、広報	たとはてなり、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ご考えまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	(す)(な)	サ必。の員し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ビス外の はなするま な要集を 業等 へる
■事業の評価 項目 必要性 効率性	た。また、定集 (CHECK) ・住民のためい。 ・市民生活上。 ・前年に比の削い。 ・執行体制のの。 ・手段の最適性。 ・市・住民・[明的な活動もあれて、対しては、対して、対して、対して、対しては、対しては、対しては、対しては、対	視点 であり、2 こ夫したのだ	茶の生きが 求められて	いづくり	のの さ生用 家ズり行 市行	時間を作る さ舌者	ことができます。	たとはてなり、まらればない。	さ考えまか結果介り、いいま多いにま多いにまりにまりにまりにまりにまりにまりにまりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりにより<	(す)(を)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)(な)	サ必。 の員し 託き	ビス外4 とする和 な要集を 業す。
■事業の評価 項目 必要性 効率性	た。また、定集 (CHECK) ・住民のために、ために、たった一、には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	明的な活動もあれた。 評価に対象果のは、ないであるが、必要であるかってが、要であるがであるがでいますが、では、では、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	視点 であり、2 こ夫したのだ	茶の生きが 求められて	いづくり	のの さ生用 家ズり行 市行 さづく	時間を作る さ舌者 疾こまっ 直す さく かんじょう できる えり できる えりのするま 運と い促む こんりん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん か	ことができます。 ・	た	さ考えまま新介的な支多の変える大多の変える大きをたけったはいませんたけったはいませんたけったはいませんとけったはいませんとけったはいませんという <t< td=""><td>は次れ業一協を降っ画の適らでビ力活にてに等にこここよここここ</td><td>サ必。 の員し 託き げ提</td><td>ビス外4 な要集 な要集 等。 生きがい</td></t<>	は次れ業一協を降っ画の適らでビ力活にてに等にこここよここここ	サ必。 の員し 託き げ提	ビス外4 な要集 な要集 等。 生きがい
■事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	た。また、定集 (CHECK) ・住民のために、 ・市民と生活上が、 ・前年スト体の制ののでは、 ・事段ののでは、 ・本・中に、で制めるでは、 ・本・中に、で制めるでは、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、で、 ・本・中に、 ・市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	明的な活動もあれた。 評価に対象果のは、ないであるが、必要であるかってが、要であるがであるがでいますが、では、では、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	視点 であり、2 こ夫したのだ	茶の生きが 求められて	いづくり	のの さ生用 家ズり行 市行 さづく	時間を作る さ舌者 疾こまっ 直す さく かんじょう できる えり できる えりのするま 運と い促む こんりん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん か	ことができます。 事業のは 化たため 水では 化たため のに調 事業の レター 事業 アター アライン アライン アライ アライン アライン アライン アライン アライン	た	さ考えまま新介的な支多の変える大多の変える大きをたけったはいませんたけったはいませんたけったはいませんとけったはいませんとけったはいませんという <t< td=""><td>は次れ業一協を降っ画の適らでビ力活にてに等にこここよここここ</td><td>サ必。 の員し 託き げ提</td><td>ぜと 様必募 業す 生きがし</td></t<>	は次れ業一協を降っ画の適らでビ力活にてに等にこここよここここ	サ必。 の員し 託き げ提	ぜと 様必募 業す 生きがし
事業の評価 項目 必要性 効率性 妥当性	た。また、定集 (CHECK) ・住民のために、 ・市民生生にいる。 ・前年により、 ・前の制のでは、 ・事段のの最適性 ・市・住民・ ・施策へ達し、 ・市民生生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・日間には、 ・一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	明的な活動もあれて、次のでは、次のでは、次のでは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	視点のであり、 こましたのな	茶の生きが 求められて	いづくり	のの さ生用 家ズり行 市行 さづく	時間を作る さ舌者 疾こまっ 直す さく かんじょう できる えり できる えりのするま 運と い促む こんりん ひんしん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんじん かんしん かんし	ことができます。 ・	た	さ考えままのおかけるからからできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからの<	では、では、では、がます。では、では、がまずれるでをするできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれ	サ必。 の員し 託き げ提	だとと な要集 等。 生きがい
■事業の評価 項目 必要性 効率性 受当性 を策への貢献度	た。また、定集 (CHECK) ・住民のためが、・市民生生にのたった一部のでは、 ・前年に生いの制のでは、 ・事段のの最適性では、 ・市・住民・「 ・施標へ達し、 ・市民世では、 ・市・大阪のでは、 ・市民では、 ・市では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	明的な活動もあれている。 評価 に対果的無常るかれてが、一次を表している。 では、一次を表している。 では、一次を表している。 では、一次を表している。 では、一次を表している。 では、一次を表している。 では、一次を表している。 では、「ない」 には、「ない」 には	視点 であり、を こ夫したのが 直するのがほ	を 対められて ないか	いづく!	ののとされる。などは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	時間 さ舌者 疾こまっ 直す さく業 を かけっ のすそま 運と い促り のすそま 運と い促り	ことができる。 事業のは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た	さ考えままのおかけるからからできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからできるできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからからのできるからの<	は次れ業一協を降っ画の適らでビ力活にてに等にこここよここここ	サ必。 の員し 託き げ提	だとと な要集 等。 生きがい
■事業の評価 項目 必要性 効率性 を策への貢献度 ■今後の進め ささえあいセン	た。また、定集 (CHECK) ・住民のために、 ・市民生生にいる。 ・前年により、 ・前の制のでは、 ・事段のの最適性 ・市・住民・ ・施策へ達し、 ・市民生生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・自用民生になる。 ・市・日間には、 ・一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	明的な活動もあれている。 評価 に対象果会である。 の対象を表する。 では、	視点 であり、を こ夫したのが 直するのが 記するのが 記するのが 記するのが 記するのが 記するのが 記するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述するのが 記述する。	学の生きが 求められて か	いづくと	ののとされるながある。	時間 き舌者 疾こまっ 直す さく業 ゆはり わわれる こうしょ かんり かんしい かんり かんしい かんり かんしい かんしい かんり かんしい かんしい かんしい かんしい かんしい かんしい かんしい かんしい	ことができます。 事業つは 化たた。 事をくて (は) に (は) に (は) で (は	た	さ考えまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	では、では、では、がます。では、では、がまずれるでをするできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれるできずれ	サ必。 の員し 託き げ提	ビス外の なまな要集を 業す。 生きがい